

【ロシア語の紹介】

ロシア語について考えたときに最初に思い浮かぶのは、エキゾチックな文字ではないでしょうか。英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語ではラテン語からの流れを持つラテン文字（ローマ字）を使っていますが、ロシア語では教会スラブ語からの流れを持つキリル文字を使います。ロシア語で使われている文字のアルファベットを小文字で示すと、а, б, в, г, д, е, ё, ж, з, и, й, к, л, м, н, о, п, р, с, т, у, ф, х, ц, ч, ш, щ, ь, ы, ь, э, ю, я の 33 文字です。一見奇妙に見えますが、ロシア語で使われているキリル文字も英語などで使われているラテン文字も基本的にはギリシア語で使われているギリシア文字に起源を持ち、多くの共通点があります。ロシア語の а は英語の a、ロシア語の о は英語の o、ロシア語の к は英語の k、ロシア語の м は英語の m に対応し、ほぼ同じです。しかし、ロシア語の н は英語の h ではなく、英語の n に対応し、ロシア語の р は英語の p ではなく、英語の r に対応します。また、アルファベットの並ぶ順番も英語とロシア語には多くの共通点があります。新しい文字を覚えるのは、楽しいと思う人と、面倒だと思う人がいると思いますが、全部で 33 個しかありませんので、一晩あれば十分に覚えられる程度だと思います。友達が知らない文字を読めるのはおもしろいと思いますよ。

ロシア語は、なじみがないかもしれませんが、特殊な言葉ではありません。ロシア語は、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語と言葉の起源において同じ源（祖先）を持ちます。ロシア語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語とその他の起源を同じくする多くの言葉が属する言葉の

グループをインド・ヨーロッパ語族と呼びますが、このグループに属するヨーロッパからインドまでの広大な範囲で話されている多くの言葉（たとえば、ヒンディー語やペルシア語なども）がロシア語と親戚関係にあるのです。ロシア語と英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語はいとこぐらいの関係です。ロシア語の兄弟はウクライナ語、ポーランド語、チェコ語などです。ロシア語と英語は言葉の上でいとこ同士ですから、ロシア語は英語と多くの類似点を持っています。日本語は英語と言葉の上で親類関係にありませんので、全くと言っていいほど違った言葉ですが、ロシア語は英語と単語、文法等において多くの共通性を示します。したがって、ロシア語を勉強するときには皆さんが既に知っている英語に関する基礎的な知識が多いに役立ちます。しかし、英語と比べて、ロシア語では一つの単語がたくさんの変化形を持っています。そのため、ロシア語はしばしば「難しい」言葉の例としてあげられますが、ロシア語の難しさ、ロシア語学習の面倒くささは、もっぱら初級に集中するこの語形変化がほとんど全てだと言っても過言ではありません。例えば、発音は英語に比べると遥かに日本人にとって聞き取りやすいものですし、単語も英語より覚えやすい構造になっています。言い換えればロシア語は最初だけちょっと大変だけど、そこさえ乗り切れば後はそれほど苦労しないで済む言葉なのです。

日露関係は、経済交流を中心にゆっくりではありますが、着実に進んでいて、今後もさらにスピードを上げて進んでいくでしょう。ロシアは日本のすぐそばにあるのですから、今後はロシア語の必要性が増してくると思います。現在はロシア語を使える人は少ないですから、今がチャンスです。小樽はロシアとのつながりが全国的にもとくに深い土地柄です。例えば、小樽港には毎年たくさんのロシア船が入港し、小樽の街を歩けば毎日のよ

うにロシア人の姿を見かけます。毎年ではないですが、よく、ロシアから小樽商科大学に留学生が勉強しに来ています。街角やスーパーなどでも、ロシア語での案内などがあつたりもします。覚えたロシア語を活用するにはとてもいい環境なのです。

ロシアは大きな国でいろいろな民族の人が住んでいます。ヨーロッパ風の顔をした人、日本人のような顔をした人、中東の人のような顔をした人などいろいろな人がロシアに暮らしていて、ロシア語を使えるようになると、いろいろな人と交流することができるようになります。



【授業について】

a) 到達目標

主たる目標は、第一に、日常的な会話で必要となる内容をロシア語で表現することができるようになること、第二に、ロシア語で書かれた文章をある程度のレベルであれば読むことができるようになることです。

b) 1年目の授業について

前期および後期それぞれ週2回授業があります。前期は、最初に、ロシア語の文字、発音についての説明と練習を行います。その後は、名詞、形容詞、動詞の規則変化などの基本的な文法を中心に、あいさつなど会話をする際に必要な表現も学び、

それを使った会話の練習なども行います。後期は、週2回の授業のうち的一方は、名詞、形容詞、動詞の規則変化などの基本的な文法を中心に学びます。週のもう1回の授業は、数を使った表現を中心とした会話に必要な表現、前置詞の使われ方、名詞、動詞の不規則変化などを学びながら、前期の内容も含んだ会話の練習も行います。1年目の授業では、ロシア語を修得するにあたって必要不可欠と考えられる基礎知識を身につけるとともに、ロシア語に慣れることを目指します。外国語の授業は多くの反復練習を行い、慣れることが基本ですので、積極的に授業に参加してください。また、間違いを繰り返すことによって上達するのですから、間違えることを恐れなくてください。わからないことがあったら、いつでもいいので質問してください。

c) 2年目の授業について

2年目になると、AコースとBコースに分かれます。Aコースでは前期および後期それぞれ週2回授業を受けます。一方、Bコースでは、前期にだけ週2回の授業を受ける予定です。Aコースの前期週2回の授業とBコースの週2回の授業の内容は共通で、週2回の授業のうち的一方は、名詞、形容詞、動詞の規則変化などの基本的な文法を中心に学びます。週のもう1回の授業は、インターネット上にある実際のロシア語（たとえば、wikipediaのロシア語版の項目）を読みながら、それに関連する文法や表現を学ぶとともに、会話に必要な表現、前置詞の使われ方、名詞、動詞の不規則変化などを学びながら、これまでの内容も含んだ会話の練習も行います。Aコースの後期は、前期と同じような流れで授業を受けますが、最後の1/3は、復習の反復練習をたくさん行います。